



早緑

○学校教育目標 「友愛・挑戦・感動」

爽やかな挨拶・自ら夢や目標に向かう・努力でつながる仲間・凛々しい北中生

○経営理念 「大切な私とあなた」 自尊感情・他尊感情の育成

○学校経営目標 「チーム北中」による温かい学校づくり

○指導の重点「主体的にT(時を守り) P(場を清め) R(人を敬う)」

2024年。一日一日を大切に作る北中生に。 第4ステージのテーマは「感謝と進路」

新たな年を迎え、保護者や地域の皆様におかれましては、御清祥のこととお慶び申し上げます。さて、今日、冬休みを終えた生徒たちが北中校舎に戻ってきました。学校は、若さ溢れる生徒たちがいてこそ、生き生きとした表情を見せ、魅力ある場所になります。

仕事始めの1月4日木曜日の出来事について書かせていただきます。この日、正面玄関のところに飾られている門松のお手入れするために、地域の方が来て下さ



りました。門松のお手入れが終わったところで、その方たちにお礼の挨拶をしました。その方たちが、校長室から正面玄関に戻ったところで立ち止まったのです。部活動に励んでいる北中生の姿をじっと見ておられました。外では、サッカー部の生徒たちが元気な声をかけ合いながら練習をしていました。

地域の方は彼らを見ながら、こうつぶやきました。

「生徒さんたち、元気だよねえ。この姿と声に、わたしたちは元気をもらうんですよ。でも、この光景、当たり前じゃないんですよね。このお正月は、当たりの生活のありがたさが身に染みるお正月です。」

北陸地方、特に石川県を中心とする能登半島地震の状況はみなさんも承知していると思います。災害はいつ来るかわからないとは言いながら、新年最初の日こんなに大きな地震が来るとだれが想像したでしょう。今でも消防隊の方々による必死の「命の搜索」が続いています。そして避難所などでの生活をしている方たちは食べ物や水、トイレ、お風呂などが十分でない中、周囲の人々と協力して懸命に生きています。一日も早く、搜索活動や復旧活動、十分な支援活動が行われることを祈りながら、防災教育への心がけや、生徒と共に日々の活動を大切にしていくことが我々にできることだと強く感じております。

今日の全校集会で生徒たちに以下のような話をしました。

「今年度も残り3か月です。今、目の前にいる一緒に頑張ってきた学級の友達、担任の先生、授業で教わっている先生と過ごす時間を大切にしてください。そして学級が解散するとき、ありがたの気持ちをつたえられたら最高です。そして『当たり前』の生活ができることに感謝して、一人一人をかけがえのない存在としてとらえ、一日一日を宝のように大切にしながら、スクラム組んで進んでいきましょう」と。

御家庭や地域の皆様。去年は本校への御協力ありがとうございました。本年も昨年同様、北中学校の生徒たちと教育活動への温かな応援をよろしく願います。

校長 小林 浩之

